**緊急時対応の時系列　（参考資料１）**

**発生**

・症状の確認

・何を食べたか・どれくらい食べたか

・何のアレルギーか

・その日の体調

・食べたのか、触れたのか

・口の中に食べ物が入っていたら出させ、口の中を洗い、うがい、ひどければ寝かせる

**報告・対応処置・症状観察**

・クラス担任→園長・主任・給食室→園長・主任・担任の誰かが保護者に連絡

・エピペン使用前に救急車・病院に連絡

・各園の職員数・配置などを考慮してそれぞれに合った役割分担を考える

　　　**園長・主任**…各職員に指示、場合によっては救急車を呼ぶ

　　　**クラス担任**…子どものそばから離れず、状態を確認して人を呼ぶ。

できる範囲の処置をする。経過観察を続け、記録する。

　　　**給 食 室**…ミスがなかったか確認し、子どもの様子を見に行く。

園長・保育士の指示があれば動く。

　　　**その他の保育士**…他の園児への対応・救急車の誘導をする。

**情報収集・整理**

原因を調べる　　　保育士…子どもの体の状態・その日の体調

　　　　　　　　　　　　　　　食べたのか触ったのかを確認

　　　　　　　　　　　　　　　食べてからどれくらいの時間が経ったのか

　　　　　　　　　　　　　　　その日の朝食の内容

　　　　　　　　　　　給食室…当日の献立の内容の確認（使用した食材等）

　　　　　　　　　　　　　　　除去食を作った職員から調理工程・代替食品などを確認する

　　　　　　　　　　　　　　　診断書を基に除去食を確認する

**事後の対応**

　　　・保護者に対しての説明を行う

・必要に応じて保護者に連絡し、児童の様子を尋ねる

　　　・職員間で再発防止について話し合い、それを保護者に伝える

　　　・アレルギー症状がひどい子どもが入所した場合、事前にアレルギー発生時対応訓練を

園全体で行う

**情報提示**

　・対象児の保護者に伝える

　　　・全職員に状況を説明（会議・連絡会）

　　　・掲示・お便り・集会等で全保護者に伝える

　　　　※掲示等については対象児への配慮が必要となるため、園の判断となる